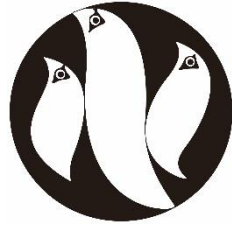


NO. 752
令和5年(2023)
3/1 (水)



小笠原 —OGASAWARA—

村民だより

編集・発行 小笠原村総務課

〒100-2101

東京都小笠原村父島字西町

TEL04998(2)3111

FAX04998(2)3222

ホームページアドレス

<https://www.vill.ogasawara.tokyo.jp>

小笠原の花・木・鳥・魚

花 ムニンヒメツバキ

木 タコノキ

鳥 ハハジマメグロ

魚 アオムロ

住民基本台帳登録者数 (2/1)

2,583人

父島 母島

人口 2,135人 448人

世帯 1,245 269

1月気象状況(父島)

最高気温 24.3℃

最低気温 11.6℃

平均気温 18.3℃

平均湿度 67%

月降水量 17.5mm

ダム 貯水率

2/17 現在

父島

100/100

母島

91.2/100

小笠原村観光振興ビジョン(案)について 村民皆さまのご意見を募集します

これからの小笠原における観光の基本的考え方や方向性、それを実現するための方策等を示した「小笠原村観光振興ビジョン」の策定に向けた取り組みを進めています。このたび同ビジョン(案)を取りまとめましたので、これに対するパブリックコメント(村民意見募集)を実施します。

【計画の内容】小笠原村観光振興ビジョン(案)

※ホームページに掲載しています。

※産業観光課、母島支所の窓口でも閲覧できます。

【今後の予定】

3月末を目途に成案を策定・公表します。



【意見提出の方法】

住所・氏名を記載し、次のいずれかの方法により、ご提出ください。様式は任意です。

①持参：産業観光課 又は 母島支所

②郵送：

〒100-2101 小笠原村父島字西町

小笠原村役場 産業観光課

③FAX：04998-2-3222

④Eメール：

sankan@vill.ogasawara.tokyo.jp

【意見提出の期間】3月14日(火)まで

【提出いただいた意見の取り扱い】

○お寄せいただいたご意見は、小笠原村の考えとともに整理した上で、公表する予定です。公表の際には、住所や氏名の個人に関する情報は公表せず、ご意見の内容のみ公表します。

○個々のご意見に、直接回答はいたしませんので、あらかじめご承知おください。

●問合せ先 産業観光課 2-3114

特別措置法の改正と延長を求める 要望書を提出しました

要望書を提出しました

小笠原諸島振興開発特別措置法は令和5年度末で期限を迎えます。

この特別措置法により、生活基盤や産業基盤の整備を中心とした各種施策が行われ、小笠原諸島の振興に多大な成果を上げてきました。

しかし、同法に基づいて返還後に整備された施設の老朽化が進行し更新の必要が生じているほか、交通アクセス、医療・福祉サービスの維持確保、災害対策等、村民生活の安定と向上のために解決すべき課題は多岐に渡っております。

小笠原諸島が豊かな自然環境を維持しながら、自立発展に向けた生活安定や産業振興を図る上で、引き続き特別措置法による支援が欠かせません。

2月13日、村長、議長をはじめ議員全員で、斉藤鉄夫国土交通大臣を訪問し、小笠原諸島振興開発特別措置法の改正及び延長を求める要望書を提出しました。



小笠原村
小笠原村議会

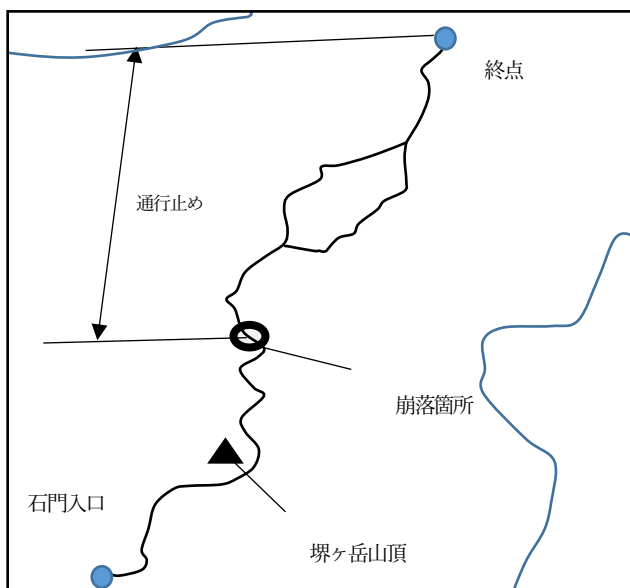
●問合せ先 総務課企画政策室 2-3111

石門指定ルートの一部通行止め について(母島)

12月上旬の豪雨により、石門指定ルートの一部で崩落が発生しました。崩落箇所の上部には、現在も土砂が残存しており、再崩落や落石等の可能性があることから、関係者で協議の上、当面の間、通行を見合わせることにしました。なお、今後の利用については、6月ごろの状況を確認した上で判断することとしております。皆様のご理解をお願いいたします。

【通行止め区間】

堺ヶ岳山頂分岐を越えたロープ場の先から終点まで(ポスト杭No 26付近から先)



●問合せ先

小笠原諸島森林生態系保全センター

小笠原母島観光協会

2-3403
3-2300



第50回小笠原ロードレース大会結果

1月29日に実施しました ロードレース大会 各部門 の上位結果を紹介いたします。

【一般男子の部 6 km】 第1位 永井 公彦 22分08秒 第2位 広岡 卓 22分51秒 第3位 南 圭介 23分10秒	【一般男子の部 4 km】 第1位 田島 尚通 17分06秒 第2位 大塚 憲一 17分09秒 第3位 清水賢太郎 17分51秒	【一般女子の部 4 km】 第1位 石川 唯 17分08秒 第2位 堀澤 麻美 18分15秒 第3位 藤澤 実樹 18分36秒
【小学生低学年男子の部 2 km】 第1位 高嶺 快功 8分20秒 第2位 成田 風真 8分42秒 第3位 川口 以織 8分50秒	【小学生低学年女子の部 2 km】 第1位 片桐まひる 9分26秒 第2位 竹澤 由珠 10分01秒 第3位 湯浅 美紅 10分17秒	【団体の部 男子 6 km】上位5名の合計 第1位 OgasawaraRun メンズ 2時間00分20秒 第2位 小笠原中学校 2時間09分03秒 第3位 小笠原高校 2時間09分04秒
【小学生高学年男子の部 4 km】 第1位 市野 大和 17分07秒 第2位 白倉 朔 17分16秒 第3位 水野 海颯 17分25秒	【小学生高学年女子の部 4 km】 第1位 阿部みんみ 19分51秒 第2位 吉田 優衣 20分23秒 第3位 高嶺和久乃 21分20秒	【団体の部 女子 4 km】上位5名の合計 第1位 小笠原中学校 1時間43分18秒 第2位 小笠原高校 1時間44分25秒 第3位 OgasawaraRun レディース 1時間44分50秒
【中学生男子の部 6 km】 第1位 市野 礼雄 23分42秒 第2位 高野 青波 25分04秒 第3位 横山 蓮 26分16秒	【中学生女子の部 4 km】 第1位 後藤 美咲 20分25秒 第2位 池田 杏 20分28秒 第3位 吉田 梨乃 20分32秒	
【高校生男子の部 6 km】 第1位 高野 碧 24分49秒 第2位 オオヒラ ローキ 25分31秒 第3位 金子善一郎 25分37秒	【高校生女子の部 4 km】 第1位 工藤 甘実 19分11秒 第2位 寺戸 藍波 19分22秒 第3位 小田川日子 20分59秒	



当日の大会出場者は309名。新型コロナウイルス感染症対策を取りながら3年ぶりの実施となりましたが、出場した選手がそれぞれの目標に向かってあきらめずに頑張っている姿がとても印象的な大会でした。

大会の運営にご協力いただきました各関係機関および諸団体の皆様に、紙面を借りてお礼申し上げます。また、交通規制にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

●問合せ先 小笠原ロードレース実行委員会（教育委員会内） 2－3 1 1 7



小笠原村民みんなのクーポン券（2022）
取扱事業者の換金請求 今月末まで

「小笠原村民みんなのクーポン券（2022）」取扱事業者の換金請求方法は、次のとおりとなります。請求期間を過ぎると換金ができなくなりますので、必ず請求期間に手続きをお願いいたします。

- 【請求期間】3月31日（金）まで
- 【請求書類提出先】村役場財政課・母島支所
- 【必要書類】
 - ①換金請求書、②利用されたクーポン券
- ※①換金請求書には代表者印の押印、②利用されたクーポン券裏面には事業者確認印の押印が必要となります。

●問合せ先 財政課財政係 2－3 1 1 2

村営バスからのお知らせ

3月25日（土）～4月5日（水）の間、小中学校が春休み期間となるため、平日ダイヤ（扇浦線）の午前7時15分小港海岸発便は、どなたでもご利用いただけます。

●問合せ先
村営バス営業所 2－3 9 8 8
産業観光課 2－3 1 1 4



LED電光掲示板運用終了のお知らせ

父島3か所（役場前・清瀬隧道・扇浦レストハウス前）、母島2か所（支所前・診療所前）で運用してきた電光掲示板について、経年劣化が著しく機器の取替え等も検討しましたが、取り替えや運用にかかるコストと代替手段の普及を考慮し、3月末までをもちまして運用を終了することとしました。

これまで電光により毎日表示していた天気情報や、入港日に表示してきた入港時刻・乗船客数情報につきましては、スマートフォンからも閲覧できる小笠原村ホームページなどから入手ください。村の気象情報はNITの天気予報電話サービスで聞くこともできます（☎049981177）。

なお父島の電光掲示板はいずれも撤去し、母島の電光掲示板は電光部分のみ撤去のうえ補修し、通常の掲示板として引き続き利用いたします。

ご理解いただきますようお願いいたします。

●問合せ先 総務課 情報通信係 2―3111

行政相談所の開設（父島）

【実施日程】 3月14日（火）

【実施時間】 午後7時～9時

【実施場所】 地域福祉センター

【行政相談委員】

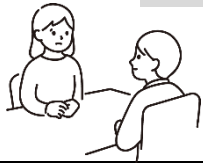
総務大臣委嘱小笠原地区担当 山田捷夫

《住所》 小笠原村父島字奥村

《電話》 090―7173―6768

※予約の必要はありません。

●問合せ先 村民課 住民係 2―3113



交通災害共済「ちよこつと共済」

東京都町村民交通災害共済「ちよこつと共済」は、東京都の全市町村の住民が会費を出し合い、交通事故にあった時、見舞金を受けられる助け合いの制度です。

小笠原村に住民登録をしている方ならどんなにでも加入できます。

各ご家庭に配布されるパンフレット・加入申込書にてお申し込いただけるとともに、令和3年度からインターネットでのお申し込みも開始されましたので、ぜひご利用ください。

【Aコース】

年会費千円

最高300万円の見舞金

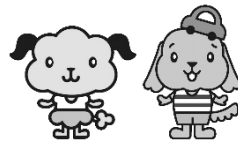
【Bコース】

年会費500円

最高150万円の見舞金

【その他】

どちらのコースも、中学生以下のお子さんのいる会員が交通災害で死亡した時には、年額12万円の交通遺児年金が支給されます。詳しい内容については、パンフレットやホームページ（<http://chokottokysai.jp/>）等をご確認ください。



ホームページ



●申込み・問合せ先

母島支所 庶務係

村民課 住民係

3―2111

2―3113

小笠原村出身学生の

一時帰省のための学生割引

小笠原村に住民登録している保護者のお子さんが内地の学校等に通う学生及び生徒で、一時帰省のために「おがさわら丸」を利用する場合は、船賃が35%割引になる制度がご利用いただけます。

この制度のご利用を希望される場合は、「おがさわら丸」の乗船券購入前に「学生証のコピー」または「在学証明書」をご持参のうえ、保護者の方が村民課住民係または母島支所にて手続きをしてください。

●問合せ先 村民課 住民係 2―3113

小笠原村奨学資金



小笠原村では、大学・大学院、高等専門学校、または専修学校に在学し、経済的理由により修学困難な方を対象に学資金の貸付を行っています。

【貸付の要件】

○貸付の日の3年前から引き続き小笠原村に住所を有する者の子であること

○大学・大学院の第1学年、高等専門学校の第4学年または専修学校の第1学年であること（ただし、大学もしくは専修学校の第2学年以上の学年または高等専門学校第5学年に在学中で、学資金の貸付を必要とする特別の事情が発生した場合を除く）

【貸付金額】 月額2万5千円

そのほか申請方法、償還の方法など詳細についてはお問い合わせください。

●問合せ先 教育委員会事務局 2―3117

しんくみはばたき奨学金について

七島信用組合では、平成29年12月に創立60周年を記念し、長年にわたりご支援いただいている地域への感謝の気持ちとして、返還不要の奨学金制度を設立しました。

島嶼出身者が大学・短期大学・専修学校等に進学する際には、引越しの手配や住居の契約などに係る費用が数十万円になることが多く、家計の負担となっており、当制度では、より負担が大きいと思われるひとり親家庭のご子女を対象に新生活の支度金として奨学金を給付し、進学にかかる費用の一助となることを目的としています。

次の募集要項をご確認のうえ、お申込みください。ご応募をお待ちしております。

【受給資格】 次の全てに該当する方。

①令和5年4月に大学・短期大学・専修学校等へ進学すること。

②ひとり親家庭のご子女で、保護者が伊豆諸島、小笠原諸島に居住していること

③父母または家計を支えている人の収入が、給与所得者の場合700万円以下（源泉徴収票の支払金額）、給与所得者以外は400万円以下（確定申告書の所得金額）であること。

【給付金額】

1人1回限り10万円 ※返還不要

【定員】 15名

※応募者多数の場合は、厳正な抽選により決定します。

【給付方法】

一括給付

申請者本人または保護者名義の当組合「普通預金」口座に振り込みます。

【募集期間】 4月3日（月）～28日（金）

【結果発表】

5月中旬頃、郵便にて結果をお知らせします。

【給付時期】5月下旬を予定しています。

●申込み・問合せ先

七島信用組合小笠原支店 2―7410
七島信用組合 本部 奨学金係
04992―2―1661

官公署等のコーナー

東京おこめクーポン事業



物価高の影響を受けやすい低所得世帯の生活を支援するため、国産の米や野菜などの食品と引き換えられるクーポンを東京都から対象世帯に配付し、申込みいただいた世帯へ食品を配送します。

【対象】

①令和4年度住民税非課税世帯

※世帯全員の令和4年度住民税均等割が非課税である世帯

②家計急変世帯

※令和4年1月以降12月までに予期せず収入が減少し、世帯員全員の年間収入見込額または年間所得見込額が住民税非課税相当となった世帯

※住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金、5万円／1世帯の対象世帯が本事業の対象です。

【提供方法】

○東京都から対象世帯に、クーポンを4月末までに順次郵送予定です。

○クーポンに同封されている申込用ハガキまたはクーポンに記載された専用サイトからお申込みください。

●問合せ先

東京おこめクーポン事業コールセンター
03―5249―3553(土日祝含む)
東京都福祉保健局 生活福祉部計画課
03―5320―4067

小型無人機等飛行禁止法に基づく
対象防衛関係施設の指定について

重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律（平成28年法律第9号）第6条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、対象防衛関係施設及び当該対象防衛関係施設の敷地又は区域並びに当該対象防衛関係施設に係る対象施設周辺地域を指定する旨の告示がありました。

今回、対象防衛関係施設として新たに父島基地分遣隊が指定され、同施設及び周辺地域の上空において、小型無人機等の飛行は原則禁止されることになりました。

小型無人機等の飛行を行うとする場合には、父島基地分遣隊長の同意を得る等、所定の手続きが必要となります。

詳細は、防衛省ホームページをご参照もしくは問合せ先までご連絡ください。

●問合せ先

父島基地分遣隊 当直室 2―2027



遊漁船業務主任者講習会の開催
について

遊漁船業（※1）の業務主任者講習会を開催します。小笠原での講習会の開催は5年に一度となりますので、該当の方は受講をお願いいたします。

※1…船舶を用いて乗客を漁場に案内し、釣り等の方法で水産動植物を採捕させる事業を遊漁船業といいます。

【日時・場所】

《父島》

4月17日（月） 午後2時～6時ごろまで
地域福祉センター 多目的ホール

《母島》

4月15日（土） 午後3時～7時ごろまで
村民会館 体育館

※父島・母島ともに開始時刻の15分前から受付を開始します。

【受講申込み方法】

小笠原支庁産業課水産担当または支庁ホームページにある「受講申込書」を記入して提出してください（郵送・FAX可）。詳細は下記担当までお問い合わせください。

【申込み期限】3月17日（金）必着

【講習会テキストの購入について】

受講にあたっては、事前に「遊漁船業務主任者講習会テキスト」の購入が必要です。

《講習会テキスト購入先》

一般社団法人 全日本釣り団体協議会

☎03―6680―8946(土日祝日を除く)

<http://www.zenturi->

[jof.or.jp/yugyosen/shuminshatext.html](http://www.zenturi-jof.or.jp/yugyosen/shuminshatext.html)

●申込み・問合せ先

小笠原支庁産業課水産担当 2―2105

母島巡回労働相談

【日時】3月22日（水）午後4時～6時

【場所】母島村民会館 2階会議室

【相談内容】

○労働条件（労働時間、安全衛生、賃金、退職・解雇など）

○求人求職（求人・求職申込など）

○労災保険（加入、労災給付など）

○雇用保険（加入、失業給付など）

※当日、都合が悪く来館できない方は、電話による相談も可能です。

●問合せ先

小笠原総合事務所 労働主査 2―2102

東京都健康づくり調理師研修会

アーカイブ配信のお知らせ

島しょ保健所小笠原出張所では、島しょ保健所管内の調理師及び飲食店等で調理の業務に従事している方を対象に1月24日・1月30日に標記研修会を開催しました。ご要望の声が多数ありましたので、研修会のアーカイブ配信を実施いたします。

【視聴期間】2月24日（金）～3月17日（金）

【対象】

島しょ保健所管内の調理師及び飲食店等で調理の業務に従事している方



【内容】
《1日目》

・「年数百匹の魚を捌く保健所職員が実験！
まな板、包丁の衛生管理・魚の衛生的な捌き方」 講師…保健所獣医

・「栄養成分表示を活用した健康づくり」
講師…保健所栄養士

《2日目》

・「いつもの料理に二工夫！島ならではの魅力を活かしたヘルシーメニューを考えよう」 講師…料理家 雀部(ささべ) かおり 先生

【申込み方法】

2次元コードから申込みフォームへアクセスし、必要事項を入力してください。申込みいただいた方に、視聴方法をお送りします。
（研修会に参加された方もお申込み可能です。）



【申込期限】 3月15日（水）

●問合せ先（平日午前8時～午後5時）

東京都島しょ保健所小笠原出張所庶務担当

2―2951



健康・保健の
コーナー

定期予防接種

3月の定期予防接種の日程をお知らせします。

【父島】

《日時》 3月2日（木）午後2時30分～4時

《場所》 小笠原村診療所

※父島は予約制です。前日までに福祉係に予約してください。

【母島】

《日時》 3月2日（木）午後3時30分～4時

《場所》 母島診療所

○接種可能予防接種

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、
四種混合ワクチン、BCGワクチン、
麻しん風しん混合ワクチン、
水痘ワクチン、日本脳炎ワクチン、
B型肝炎ワクチン、ロタワクチン

●問合せ先

村民課 福祉係 2―3939
母島支所 3―2111

乳幼児健診・歯科健診（父島）



対象者の方には、個別通知をいたします。

【対象者】

4か月、7か月、10か月、1歳6か月、
2歳6か月、3歳の乳幼児

【日時】 3月9日（木）

受付時間 午後2時～3時

【場所】 地域福祉センター2階大会議室

※なお、6歳未満の乳幼児で計測を希望される方は、問合せ先までご連絡ください。
（役場で体重測定のみ行います）

●問合せ先

村民課 福祉係 2―3939

乳幼児計測会（母島）



身長・体重等の測定を行います。母子手帳をご持参下さい。事前予約は不要です。

【対象者】 0歳～6歳の乳幼児

【日時】 3月14日（火）

受付時間 午前10時～11時

【場所】

母島診療所2階カンファレンスルーム

●問合せ先

母島支所 3―2111

医療の
コーナー

小笠原村診療所（歯科）の休診（父島）

《休診日》 3月7日（火）～3月15日（水）

●問合せ先

小笠原村診療所 2―3800

有料老人ホーム『太陽の郷』

入居の申請について

小笠原村立有料老人ホーム『太陽の郷』では入居の申請を受け付けています。

入居を希望される方は、まずは、太陽の郷までご連絡ください。ご連絡いただいた後、「老人ホーム入居申請書」をお渡しいたしますので必要事項をご記入の上、太陽の郷までお持ちください。

既に申込をされている方で、再度、入居を希望される方も太陽の郷までご連絡ください。

後日、入居審査会を開催し入居の決定を行います。

【締め切り】 3月24日（金）

※入居審査会では、介護度および身体・生活環境・緊急性等を考慮し入居を決定いたします。

【入居対象者】

○村内に居住している方（おおむね10年以上）
○65歳以上の方で介護保険法第19条第1号の規定により要介護者に該当すること及びその該当する要介護状態区分について、市町村の認定を受けている方

○村長が必要と認めた方（居宅において介護が困難などホームにおいて介護を受ける必要性が高い方）

【入居の費用（月額）】

入居利用料（居住費26,000円＋管理費26,000円＋食費）

※食費は1食500円×食事分及びサービス料（介護1 17,130円、介護2 19,230円、介護3 21,330円、介護4 23,400円、介護5 25,530円）

その他、詳細に関しては、次の連絡先にお問い合わせいただくか小笠原村診療所ホームページをご覧ください。

●問合せ先

小笠原村診療所 医療課

2―3800

小笠原村立有料老人ホーム 太陽の郷

2―3881



小笠原海運からのお知らせ

3月の調整金を含む旅客・貨物運賃をお知らせします。翌月以降の調整金または、掲載にない料金は直接営業所2―2111まで、お問い合わせください。

※○内は変動調整額となります。

単位：円		
等級	大人	小人
1等	4,960 (+1,010)	2,480 (+500)
村民割引 2等往復	5,960 (+1,220)	2,980 (+610)
等級	A(3名用)	B(2名用)
個室椅子席	5,000	3,000
1等品	9,741 (+1,293)	
2等品	9,132 (+1,212)	
3等品	8,523 (+1,131)	
小口 0.1t以下	975 (+129)	
小口 0.075t以下	736 (+98)	

ははじま丸

単位：円	
1等品	17,999 (+2,071)
2等品	16,756 (+1,928)
3等品	15,413 (+1,773)
小口 0.1t以下	1,803 (+207)
小口 0.075t以下	1,342 (+154)

貨物運賃

等級	大人	学生	小人
1等	59,160 (+9,660)	50,620 (+8,270)	29,580 (+4,830)
特2等寝台	42,730 (+6,980)	34,190 (+5,590)	21,370 (+3,490)
2等寝台	32,190 (+5,260)	25,760 (+4,210)	16,100 (+2,630)
2等和室	28,250 (+4,610)	22,600 (+3,680)	14,130 (+2,310)
等級	村民	村民小人	身障者
1等	46,350 (+7,570)	23,180 (+3,790)	29,580 (+4,830)
特2等寝台	29,920 (+4,890)	14,960 (+2,440)	21,370 (+3,490)
2等寝台	22,540 (+3,680)	11,270 (+1,840)	16,100 (+2,630)
2等和室	19,780 (+3,230)	9,890 (+1,610)	14,130 (+2,310)

おがさわら丸

旅客運賃

◎ゴールデンウィークドック明け便

乗船券の村民優先発売について

村民の皆さまの乗船枠は十分ご用意していますが、この間上京予定の方は、乗船券をお早めにご予約またはご購入お願いいたします。村民の皆さま限定で、次の表のとおり優先発売を承りますのでご利用ください。

備考	発売日	乗船日	区分
村民割引（医療・島学・在島障がい者含）に限る	3/4(土)に限り、 優先発売（片道・往復） ※1	4/28(金)東京発から 5/30(火)東京発まで	村民
※1の発売日以降の 村民も同様	3/10(金)より一斉発売	4/28(金)東京発から 5/6(土)父島発まで	一般
	通常どおり 2ヶ月前より一斉発売	5/9(火)東京発から 5/30(火)東京発まで	

○優先発売は父島営業所、母島代売所でのみ承ります。（本社、インターネットでは予約できません。）

○優先発売期間中は島民以外の同時予約及び同室、隣席希望は承れません。

○村民の方も3月5日(日)以降、満室の場合はキャンセル待ちとなります。

○混雑緩和のため、予約は一名につき3家族までとさせていただきます。

○5月16日東京発、18日父島発はさるびあ丸での運航となります。

●問合せ先

小笠原海運(株) 父島営業所 2―2111
母島代売所(母島農協) 3―2331

◎おがさわら丸の代船さるびあ丸

おがさわら丸は5月14日から28日までの期間ドック入りします。この間、次の日程で代船さるびあ丸(6099トン・近海定員284名)を運航します。

東京発	父島着	東京発	父島着
5月5日(金)	5月5日(金)	5月17日(火)	5月16日(火)
午後3時30分	午後10時00分	午後3時00分	午後10時00分

さるびあ丸船席と運賃について

さるびあ丸	おがさわら丸換算	席(部屋)数	運賃	シングル料
特等	⇔ 特1等相当	2名×6部屋	75,320	18,000
特1等	⇔ 1等相当	4名×6部屋	58,410	18,000
1等	⇔ 2和室相当	36席	31,780	-
特2等	⇔ 2寝台相当	212席	27,900	-

※さるびあ丸はおがさわら丸の特等、特2等相当の部屋はありません

※島民割引等については窓口にお問合せ下さい。

●問合せ先 父島営業所

2―2111

明老会職員募集

①登録ヘルパー(パート)父島2名・母島1名

②介護職員(パート)父島1名・母島1名

③介護職員(正社員)父島1名

【仕事内容】

①自宅を訪問して、調理や掃除等の家事援助や入浴介助等の身体介護の提供。

②デイサービスでの介護業務。

③デイサービス、ショートステイ、訪問介護での介護業務。夜勤あり。

【資格】

①②ホームヘルパー2級以上。普通自動車免許(AT限定可、ペーパー不可)

③介護職員実務者研修以上(実務経験3年以上)。普通自動車免許(AT限定可、ペーパー不可)

【勤務時間】

①午前8時～午後6時の間で30分～1時間程度

②午前8時30分～午後4時の間で3時間～6時間程度

③午前8時～午後5時15分(休憩90分)、午前8時30分～午後5時15分(休憩60分)、午後4時45分～午前9時15分(夜勤)

【休日】

①②週休2日制 基本土日祝日

(①は土日祝日のみの稼働可能)

③シフトによる。

【給与】

①②時給1200円

③経験年数による。

詳細は、お問い合わせください。

●問合せ先 明老会

2―3911

電話による無料法律相談

第二東京弁護士会主催の電話無料法律相談を島しょ部住民を対象に実施します。

【相談内容】 無料一般相談

【実施日程】 3月24日(金)

【実施時間】 午前10時～正午

(1件あたり概ね20分枠)

相談を希望される方は、予約が必要となりますので、前日までに連絡をお願いします。

●申込み・問合せ先

第二東京弁護士会法律相談課

03―3581―2250

受付時間：平日午前9時30分～午後4時30分

環境・自然のページ

集落におけるネズミの一斉防除（父島）

ネズミは小笠原には元々生息しておらず、人の移動などによって持ち込まれた外来種です。小笠原の無人島では、固有のカタツムリや植物、オガサワラカワラヒワ、海鳥等を守るためにネズミ対策が進められています。

父島・母島については、平成27年度から「有人島におけるネズミ対策にかかる行政連絡会」などで対策を議論しており、この一環として各行政機関と関係者、有志で、集落でのネズミの一斉防除を実施します。期間中、集落内各地にネズミを捕獲するためのカゴ罠が設置されますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

【実施期間】 3月13日（月）～17日（金）

【実施場所】 父島集落

カゴ罠等の貸出は常時受け付けております。また、捕獲したネズミについて、この期間中は村役場にて処分することも可能です。ご希望の方は、問合せ先までご連絡ください。

●問合せ先

環境課 自然環境係 2-2270



小笠原動物協議会からのお知らせ

◎母島巡回しつけ相談

小笠原世界遺産センター動物対処室（父島）の動物看護師によるペット（犬・猫）のしつけ相談を行います。ペットのしつけについて普段気になっていることがありましたら、まずはお電話にてご連絡ください。

【診療日程】

3月2日（木）午前11時～正午／午後2時～4時30分

3月3日（金）午前8時30分～正午

【予約申込】 3月1日（水）まで

※当日でも予約状況により、申込み受け付け可能です。

【費用】 無料

◎母島巡回ペット診療・相談

小笠原世界遺産センター動物対処室（父島）の獣医師による「母島巡回ペット診療・相談」を行います。いざという時に備えてペットの体調に関わらず、この機会に受診してください。

【診療日程】

3月27日（月）午前11時～正午／午後2時～4時30分

3月28日（火）午前8時30分～正午

【予約申込】 3月20日（月）まで

【費用】 診療は有料、相談は無料

◎しつけ相談／ペット診療・相談の共通事項

事前予約制です。

ご自宅への往診を基本とします。

【予約申込み先】

動物対処室 070-1054-3467

●問合せ先

小笠原動物協議会事務局（環境課自然環境係） 2-2270

植物防疫制度へのご協力依頼

◎小笠原から持ち出せないものもあります！

小笠原諸島には、農作物に大きな被害を与えるアフリカマイマイ、アリモドキゾウムシ、イモゾウムシが発生しています。これらの害虫が未発生地域へ広がることを防ぐため、植物防疫法により、これら害虫及び寄主植物であるサツマイモ、ヨウサイ等の植物の持ち出しが禁止されています。

観葉植物・苗木等の根付き植物や土壌サンブルを小笠原諸島から内地へ持ち出す際は、植物防疫官又は植物検疫補助員により、害虫やその卵の付着がないことの確認を事前に受けていただくようお願いいたします。

なお、引越し・処分・販売等のため屋外に置かれた車両・家具・資材等を内地へ搬出する際には、アフリカマイマイの付着がないか、ご確認いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。ご不明な点等がありましたら、小笠原総合事務所にご相談ください。

《小笠原諸島から持ち出せないもの》

【害虫】

アフリカマイマイ、アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ

【植物】

アサガオ、サツマイモ、ヨウサイ（空心菜）、グンバイヒルガオ等の生茎葉及び地下部

《根付き植物等の確認実施場所》

【宅配便・貨物等】

小笠原総合庁舎2階業務課（平日午前8時～午後5時15分）

【手荷物・携帯品】

二見港船客待合所（おがさわら丸出港1時間前）



※母島では小笠原アイランズ農業協同組合母島支店にて植物検疫補助員が確認を実施しています。

●問合せ先

小笠原総合事務所 業務課 2-2102

南島外来植物駆除ボランティア

次のとおり南島の外来植物駆除を実施するため、ボランティアを募集します。

※11月下旬に実施予定でしたが、海況不良のため中止となりました。

【日時】 3月21日（火）

午前8時～午後1時30分ごろ

【作業内容】

南島における2時間程度の除草作業

【集合・解散場所】 青灯台

【募集定員】 20名程度

【応募資格】 小笠原村在住の方

※18歳未満の方が単独で参加する場合は、保護者の同意書が必要です。

【申込期間】 3月10日（金）まで

【申込方法】

（1）または（2）のいずれかの方法でお申込みください。

（1）窓口・小笠原支庁土木課で配布する参加申込書に必要事項を記入して提出

（2）メール・件名を「南島ボランティア申込み（氏名）」にして、本文に

①氏名②生年月日③住所④電話番号

を明示して、小笠原支庁土木課アドレス宛に送付

S0000651@section.metro.tokyo.jp

メールアドレス



【募集チラシ（小笠原支庁ホームページ）】
https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/07og/asawara/information/pdf/r4_minamikujo_2.pdf

小笠原支庁
ホームページ



※作業の詳細については参加者確定後にお知らせいたします。

●申込み・問合せ先

小笠原支庁土木課自然環境担当 2―2167

銃器による父島東平のノヤギ排除 及び国有林指定ルート等の利用について

環境省では、父島東平自然再生区のノヤギ侵入防止柵内のノヤギの再排除のため、銃器によるノヤギの排除作業を次の日程において行います。東平の国有林 指定ルート（東平・石浦）は通行可能ですが、ルート外には立ち入らないようお気を付けください。村民の皆様のご理解とご協力のほど、宜しくお願いたします。

【作業時間】 午前7時～午後3時

※入港日は正午まで

【作業区域】 父島東平自然再生区南部

【作業日程】

3月1日（水）、2日（木）、9日（木）、15日（水）

【予備日】

3月20日（月）、21日（火）、22日（水）

【通行止め日程・ルート】 なし

●問合せ先

環境省小笠原自然保護官事務所 2―7174

昆虫と植物に関する講演会

開催のお知らせ

小笠原諸島における昆虫と植物の関係を調査している研究者が最新の調査結果について講演します。会場では標本なども用意する予定ですので、ぜひご参加ください。詳細は追って村内掲示板にチラシを貼り出しますの
で、そちらをご確認ください。

【講演者】

京都府立大学 大島一正 准教授

【日時】 3月21日（火）

午後7時～8時30分（予定）

【方法】 会場：小笠原世界遺産センター／
ウェブ同時配信（参加登録不要）

※ウェブでの視聴に際してはメールアドレス入力等の作業が必要となりますので早めのアクセスをお勧めします。

【配信URL（Webex）】

<https://meet.jit.si/moelan.webex.com/meelan/j.php?MTID=9932b21956d5a2905bf556ee57c96660>
ウェビナー番号：2519 261 3335

●問合せ先

環境省小笠原自然保護官事務所 2―7174

『オガサワラグワの今後を考える オンラインミーティング』

開催のお知らせ（オンライン開催）

林野庁補助事業「小笠原諸島における在来樹木による森林の修復手法の開発」において、オガサワラグワ保全に関する検討を行いました。その事業成果となる最新のオガサワラグワの現状をご報告し、皆さまと一緒に保



全を考えるため、ミーティングを開催します。今回は感染防止対策のためオンラインのみとなりますが、皆さまのご参加お待ちしております。

【日時】 3月13日（月）

午後7時～9時（予定）

【実施方法】

Zoomを使ったウェブ配信により実施

※参加登録は不要です。スマートフォン等の携帯電話での視聴の場合、Zoomアプリのダウンロードとパスコードの入力が必要となりますので、早めのご準備をおすすめいたします。ご心配な方は事前のテスト接続をいたしますので、お問い合わせください。

【講演者のご紹介】

○駒澤大学 清水善和氏

○森林総合研究所 河原孝行氏

○森林総合研究所 林木育種センター

○小笠原野生生物研究会 玉城聡氏

吉井氏・横谷氏・浅井氏

それぞれの講演の後に質疑応答を行い、最後に総合ディスカッションを予定しています。

【配信URL】

<https://us02web.zoom.us/j/84595924603?pwd=a1B3Uj1MRkw1ZENueDZ0aWZlYkZlUT09>
ミーティングID：845 9592 4603
パスコード：ogagwa



※スマートフォンからのアクセスにはZOOMアプリのインストールが必要です。

●問合せ先

一般社団法人 日本森林技術協会

03―3261―5515

shinrinhozen@jafta.or.jp

担当：村尾

国有林の森林生態系保護地域入林 簡易講習会について（父島・母島）

国有林の森林生態系保護地域入林簡易講習会について、講習資料等を配付し各自で受講していただく講習とし、アンケート調査票等の提出をもつて講習修了とさせていただきます。

つきましては、次の1及び2の目的で国有林の森林生態系保護地域に入林される場合、利用講習の受講と入林申請が必要となりますので、講習資料の配付を希望される方は、講習申込み締切日までに、事前に電話でお申込みください。

1…村民でレクリエーション目的で指定ルートを利用される方（村民レク簡易講習）

父島及び母島の国有林内の指定ルートを利用するための簡易講習資料により各自受講していただきます。指定ルートを利用するためには、講習修了と入林申請により発行される「年間パス」の発行が必要です。

2…調査・研究及び作業等の目的で入林される方（調査研究簡易講習）

森林生態系保護地域において、調査・研究、同補助及び作業の目的で入林するためには、簡易講習資料に加え調査研究講習資料の各自受講と入林申請が必要です。

※1、2共に有効期間は2年間となります。有効期間を過ぎて引き続きの入林を希望される場合には、再度講習の受講をお願いいたします。

※1、2の事務の流れは次のとおりとなります。

- ①受講希望者は締切日までに電話にて申込み
- ②講習資料を郵送にて送付
- ③講習資料を各自受講しアンケート調査票等を記載し郵送
- ④講習修了書・入林許可書・年間パス又は腕章の交付。

◎父島・母島講習申込み締切日

【締切日】3月22日(水)

●申込み・問合せ先

小笠原諸島森林生態系保全センター

2-3403

小笠原総合事務所国固有林課

2-2103

ビクターセンターのお知らせ

【3月の開館日】

おがさわら丸入港日・出港日、

7日(火)・13日(月)・19日(日)

【開館時間】午前8時30分～午後5時

(夜間開館日・・・午後9時)

新型コロナウイルス感染防止のためマスクの着用と手指消毒のお願い、人数制限や館内の消毒清掃を適宜行っています。ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

※イベント・夜間開館については、掲示板のポスターをご覧ください。

【特別展】

○「絶海の自然・硫黄列島をゆく in 小笠原」

開催中

2021年に神奈川県立 生命の星・地球博物館で開催された特別展をもとに再構成し、展示します。

○「知って楽しい ザトウクジラ」展

「また会えるかな...また会いたいな。開催中 ザトウクジラの実物大イラストの展示と、その生態や最新情報について紹介します。」

●問合せ先

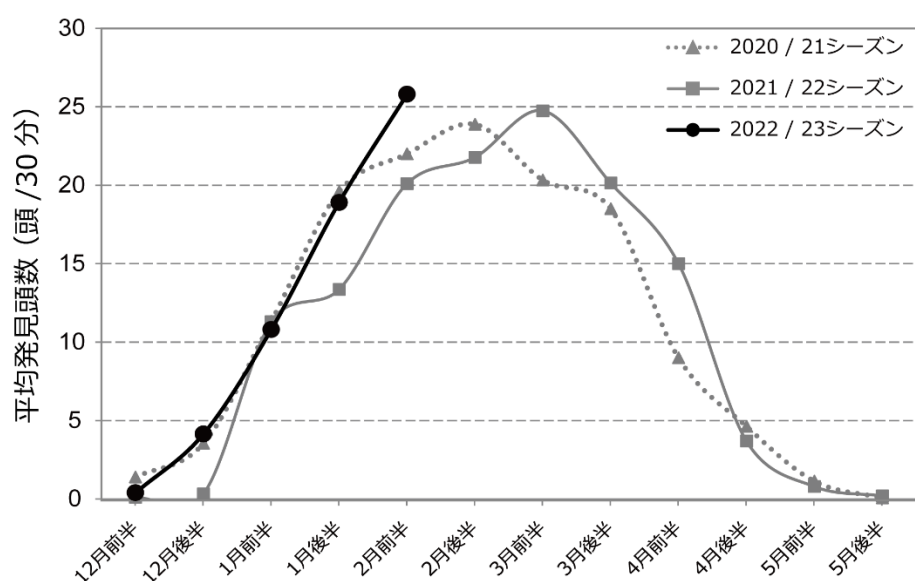
小笠原ビクターセンター

2-3001

「ザトウクジラ来遊状況」 OWAインタープリター講習会のお知らせ

3月になり、ザトウクジラシーズンも折り返しの時期に突入しました。まだまだ来遊ピーク中とあって、島周りはクジラたちでにぎわいを見せています。これからのシーズン後半戦に向け、引き続きこれまでのザトウクジラの来遊状況をお伝えしたいと思います。

OWAでは、毎年12月から翌年5月にかけて、ウェザーステーション展望台から毎朝30分間のザトウクジラの目視観測を実施しています。次のグラフは、半月ごとにその平均発見頭数をまとめた結果です。



先月の村民だよりでは、1月前半終了時点で過去2シーズンと同程度の観測結果であったことをご報告しました。その後1カ月間の観測結果を見ると、1月後半は昨シーズンよりも1日の平均発見頭数が多く、一昨シーズンと同じくらいの結果であったことがわかります。また、2月に入ってもそのままの勢いで発見数は増加し、多い時には30頭以上を確認した日もありました。結果的に2月前半の平均発見頭数は25頭程と、過去2シーズンを大きく上回るものとなりました。2月前半ですでに例年のピーク並みの数が確認できておりますが、3月はどのようなようになるのでしょうか？

◎OWAホエールウォッチングインタープリター新規認定講習会

【日時】3月21日(火)・祝午後6時～9時

【実施形態】※父島・母島同時開催

Zoomを用いたオンライン講習

【費用】500円(テキスト代)

【講習内容】

「小笠原の基礎鯨類学」

「インタープリテーション学入門」

【対象者】

小笠原村在住の15歳以上(ガイド経験不問、鯨類とガイドの勉強をしたい方)

【申込方法】

事前のお申し込みが必要です。次の二次元コードからお申込みいただくか、OWA事務所へお越しください。



【申込締切】3月14日(火)まで

●問合せ先

一般社団法人小笠原ホエールウォッチング協会(OWA)

2-3215

海洋センターだより その262

ーボランティアって何するの？ー

小笠原海洋センターでは年間延べ60人もの方々がボランティアスタッフとして、ウミガメの飼育など海洋センターの仕事の一部をお手伝いしてもらっています。学生のうちに野生生物保全について学びたい、少ない勤務期間中に小笠原についてもっと知りたい、休職中に憧れだった小笠原に長期訪れたいなど、皆さん様々なバックグラウンドと、様々な理由から参加してくださいます。

小笠原海洋センターのボランティア活動は飼育ウミガメの水槽掃除の他に、ウミガメやザトウクジラ調査のお手伝いなど多岐に渡ります。

まず飼育ウミガメの水槽掃除については、毎日の仕事として行っていますが、定期的に塩素を使用した大掃除も行います。夏場は水槽やウミガメの甲羅にコケが生えやすくなるため、この作業は特に大変です。水槽の壁をゴシゴシ磨いたり、ウミガメを一頭一頭ブラシで洗ってあげるのは、根気がいる作業ですが、きれいになった水槽で気持ちよさそうに泳ぐウミガメたちの姿には、とても癒されます。

ウミガメの調査は、4月頃から産卵調査、8月頃から孵化後調査が始まり、11月頃まで続きます。調査する海岸は父島・母島列島の他、無人島の海岸でも実施します。調査する海岸には陸から歩いていくか、海からボートで近づき泳いで上陸したりします。調査は、卵の状態を確認するために、産卵巣を掘る作業です。砂の中にある大きな石に阻まれたり、砂浜に這いつくばりながら腕の長さ以上の穴を掘るなど、大変な作業ですが、ウミガメが一生懸命産卵した様子や稚ガメが脱出した様子を想像すると、何とも感慨深くなり

ます。

もう一つのザトウクジラの調査は「個体識別調査」といい、例年1月頃から始まりま
す。小笠原近海に來遊するクジラの尾びれの
写真を撮影するため、海に向かいます。まず
はブロー（クジラの潮吹き）を探し、彼らの
動きを予想しながら、背後に船をつけ、尾び
れを上げる瞬間を狙います。撮影した写真
は、過去に確認されたクジラと同じ個体かど
うかのマッチング作業を行います。十数年ぶ
りに小笠原にやってきた個体に出会ったり、
以前は子クジラとして発見された個体が母ク
ジラになっていたりするなど、クジラの行動
や成長を感じることができま

す。

ボランティア活動は根気や体力が必要な仕
事ですが、自然と動物を身近に感じられる機
会になります。ぜひウミガメやザトウクジラ
をより近くに感じられる「ボランティアスタ
ッフ」に参加してみませんか？

―村民ボランティア募集中―
ウミガメの調査や飼育業務の村民ボランテ
ィアを募集しています。月1回でも構いませ
んのので興味のある方はご連絡ください。

●問合せ先 小笠原海洋センター2―28030
(認定NPO法人エバーラスティング・ネイチャー)
ホームページ <https://bonin-ocean.net>

「続・小笠原の今と昔」では、戦前に硫黄島
で暮らしていた島の人たちの日常を村民の皆
さまにご紹介いたします。なお、転載元の書
誌情報は村民日より746号をご覧ください。

硫黄島編(6)

―森田「旧姓…高橋」いつはさんが、よく

言っていたのは、硫黄島は地熱があるから、お
芋をふかして食べていたって。ちゃーちゃん
「Ⅱフサ子さん」もやっていたの？

千鳥「部落」っていつて、飛行場の方に、
噴火草っていうのがあって、地熱があるんだ
よ。そこへお芋のツルを地面に差しとくん
だよ。そうすると、いいお芋ができるんだよ。
それを収穫に行つて、「地熱の出ているところ
に」収穫したお芋を置いて、草かけて、上
から土かけて。それで暫くして行くと、ちょ
うどいい具合に蒸けてるの。「そのやり方
は」そこに行つた時だからそうしたんだよ。
家では、四角い枠の、鉄の「聴き取り困難」
がはまつて。それを竈の上に乗せて、中
にお芋をいっぱい入れて、下に消し炭を入れて
あつて、いつでも食べられるようになってる
の。

―いつでもお芋があつたの？

お芋の時期はね。でね、その他に、うちの
ばあちゃん「Ⅱフサ子さんの母」はおやつを
作つたり。お米の残つたのを干しておいて、
油で揚げて、砂糖で絡めて、黒砂糖。

―いいお砂糖だよ。

真つ黒だったよ。物置のこんな大きい樽に
入つてたの。普通、欠けないよ。だから金槌
か何かで割つて食べてたの。そうだよ、お塩
だつて、地熱で、塩炊き場つてところがあつ
て。そこに塩八さんつて人がいて、塩専門
の。そこへ、ね、かます「Ⅱ塩一俵」を買い
に行つて、樽の上に乗せて。にがりつてい
うのが出るんだよ。それを豆腐屋さん持つて行
つて。豆腐屋さんのおばさん知つてい
る。うちのお父さんが「にがり」持つて行
つてあげて。おからもらつたりね。塩は海水
から作つてたんだよ。

―どの辺にあつたの？ その塩作つてると
ころ。

わからないかも知れないけど、塩八さん。
東「海岸」からさ、少し北の方。海だよ。す

ぐ海だもん。北「海岸」じゃなくて、あれは
なんて言うんだらう。あそこも東「海岸」に
なるのかもわからない。

―訪島事業「Ⅱ原則として毎夏行われる小
笠原村主催の島民墓参」で、船で島をぐるつ
と周つて帰る時、東の方つて地熱が高くて煙
が出ているじゃん？
うん。

―あそこらへんに温泉みたいなのがあつた
つて、言つてなかった？

ああ、自衛隊の人がね。あたしは、そんな
温泉に入ることはなかったけど。うちの法子
「Ⅱフサ子さんの妹」が、汗疹みたいなの
が、額の脇にできちゃつたの。小さい時に。
で、おばあちゃん「Ⅱフサ子さんの母」が遠
山海岸つてところに連れて行つて。そこは地
熱が出てるんだよ。それで、その蒸気を「患
部にあてて」こうやってやつて。よく私も一
緒に行つたけど。

(川島恒夫 遠山海岸は、俺らも1回行つたん
だよ。

行つたよ。それで、あそこに行つたじゃな
い。観音様が飾つてあつて。

(川島恒夫) あれから1回も行かせてくれない
んだよな。

行かせてくれない。

・・・次回 硫黄島(7)につづく

小笠原村教育委員会

◎マイマイのイマ

第九十四頁「媒島のマイマイ」

去年、一昨年と東京都さんとアイボさんに
連れられて媒島に行つたが、昔と見違えるほ
ど緑が増えていた。西側は相変わらずだが、
東側は緑色の増え方が著しい。これから植
物、昆虫、鳥類、陸貝など、再生計画が進む
そうである。50年、100年と、息の長い

仕事になるのだろう。生態系に関わる問題
は、一度に何でも解決しようとする、逆に
悪くなつたりする。一刻を争う問題もある
が、応急手当をしつつ、遠い未来を見据えた
対策が必要なのだと思う。

最初に媒島に行つたのは80年代だと記憶
しているが、ほんとうにひどい所だった。理
由は忘れたが、船から泳いで上陸した記憶が
ある。赤い大地とヤギとハエの大群を見て、
地獄のようだった。しかしそれでもカタ
マイマイが3種いた。残念ながらそのうち2
種はのちに絶滅したが、残りの1種、その時
1番稀だった樹上性の種が生き延びた。幸
い、ネズミ駆除後急激に増えているようであ
る。

外来捕食者は駆除すれば在来種は確実に増
える。絶滅も防ぐことができる。わかつてい
るのだが、難しい。媒島も緑が増えたところ
は、実は大半がギンネムとササの仲間だつ
た。カタマイマイには好ましくない植物であ
る。これを在来植生に変えるのは気の遠くな
る話だが、あきらめずに、世代を超えて挑む
ことが必要なのだろう。



【文】東北大学 千葉 聡

【イラスト】小野 恵

●問合せ先 教育委員会

けんこう通信

— 村民課福祉係 —

— 第277号 —



野菜を食べて健康づくり

～ 1日 350g 以上とりましょう～

皆さん、毎日野菜をどのくらい食べていますか？ 厚生労働省は、成人は野菜を1日350g以上（そのうち緑黄色野菜を120g以上）をとることを推奨しています。しかし、実際は平均で280.5gとすべての年代で350gに達していません。（令和元年国民健康・栄養調査）また、小笠原村では1日に350g以上野菜を食べている人の割合は男性が25.9%、女性が29.9%です。

今回は、野菜を1日350g以上摂るためのポイントをお伝えします。

（平成28年東京都民の健康・栄養調査）

どのくらい足りないの？

令和元年に行われた調査では、平均して1皿(70g)分の野菜が足りません。

「あと1皿」
野菜を食べよう！

あと一皿(70g)の野菜ってどれくらい？

きゅうり(小)1本

トマト 半分

玉ねぎ 1/3個

大根 約2cm

ピーマン(大)2個



どうやって食べればいいの？

例) 小鉢(野菜70g)×5皿 = 350g

朝



青菜のおひたし 70g

昼



野菜サラダ 70g



具沢山スープ 70g

夕



きんぴらごぼう 70g



ピリ辛たたききゅうり 70g

【1日 350g ということは…】

1週間で1人当たり約2.5kgの野菜が必要になります。週1回の入港日。どのくらいの野菜を買い揃えたいのでしょうか？



これで約2.5kg（うち緑黄色野菜840g）になります。

1週間でこれ位の野菜を食べられるように意識してみましょう。

【購入例（1人分）】

にんじん（2本）



ピーマン(5個)



玉ねぎ(3個)



キャベツ(半玉)



ほうれん草（1袋）



ナス(3本)



トマト(2個)



大根(半分)



野菜をとるためのポイント

日持ちする野菜のおかずを作り置き

休みの日にきんぴらごぼうや切干大根など日持ちするおかずを作り置きすれば忙しい日の一品に。



加熱してカサを減らす



電子レンジで簡単温野菜

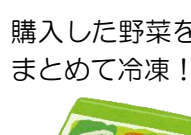


鍋料理などの汁物に

冷凍野菜を取り入れる



日持ちや量を気にせず使える！



購入した野菜をまとめて冷凍！

外食時は野菜の多いメニューを選ぶ

麺類や丼ものは野菜の多いものを選びましょう。またサラダなどの小鉢を注文して野菜を意識的に取り入れましょう。



クジラ：野菜は身体に良いのは分かるけど、1日350gの野菜をとるって、なかなか難しいなあ。

入港直後じゃないと売り切れてしまう野菜もあるし。

保健師：クジラさん、冷凍野菜や缶詰を使うことで、いつでも野菜を使うことができますよ。また、農協では新鮮な島野菜が手に入りやすいです。小松菜やほうれん草はお浸しにするだけで、一品料理が手軽に出来上がります。

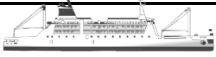
クジラ：そうか。身体のために意識的に野菜料理を1品追加してみるよ！

クジラの伝言板



村民課福祉係
2-3939

3月のカレンダー

日付	曜日	行事予定	日付	曜日	行事予定
1	水	ヘルスアップ教室(父島)(3kmコース)/環境省ノヤギ排除 シロアリ対策事業(第4回)(母島) シロアリ対策事業(第4回)(父島)(・2日) 芝税務署・東京税理士会による出張申告相談(父島) 動物対処室休診(～23日)/母島巡回しつけ相談申込み切	16	木	令和5年度予算特別委員会/本会議
2	木	定期予防接種(父島・母島) 母島巡回しつけ相談(・3日)/環境省ノヤギ排除 芝税務署・東京税理士会による出張申告相談(母島)(・3日) 小笠原村議会議員選挙立候補者予定説明会	17	金	小笠原中学校卒業式 遊漁船業務主任者講習会申込み切
3	金	 入港日 小笠原高等学校卒業式 東京三弁護士会による法律相談所(母島)	18	土	出港日  母島小中学校卒業式
4	土	おがさわら丸乗船券 村民優先販売 母島アカギ木工教室(・5日) 東京三弁護士会による法律相談所(父島)	19	日	小笠原高校 図書館開放
5	日	小笠原高校 図書館開放	20	月	母島巡回ペット診療・相談申込み切
6	月	出港日  国有林の事業取組報告・特別講演会	21	火	昆虫と植物に関する講演会(環境省) OWAホエールウォッチングインタープリター新規認定講習会 南島外来植物駆除ボランティア 春分の日
7	火	小笠原村診療所(歯科)の休診(父島)(～15日) ガイド及び環境教育指導者講習(父島) SAガイド及び環境教育指導者講習(父島)	22	水	 入港日 母島巡回労働相談 国有林の森林生態系保護地域入林簡易講習会申込み切
8	水		23	木	粗大ごみ収集(母島) 小笠原小学校卒業式
9	木	 入港日 村議会(第1回定例会)本会議/環境省ノヤギ排除 乳幼児健診・歯科健診(父島)	24	金	『太陽の郷』入居申請 申込み切 電話による無料法律相談(第二東京弁護士会)
10	金	村議会(第1回定例会)委員会(総務・硫黄島・航空路) 南島外来植物駆除ボランティア申込み切	25	土	出港日 
11	土	ヘルスアップ教室(父島)(6.5kmコース)	26	日	小笠原高校 図書館開放
12	日	出港日  小笠原高校 図書館開放	27	月	母島巡回ペット診療・相談(・28日)
13	月	集落におけるネズミの一斉防除(父島)(～17日) 『オガサワラグワの今後を考えるオンラインミーティング』	28	火	 入港日
14	火	乳幼児計測会(母島)/行政相談所の開設(父島) 小笠原村観光振興ビジョン(案)意見提出申込み切 OWAホエールウォッチングインタープリター新規認定講習会申込み切	29	水	
15	水	 入港日 令和5年度予算特別委員会/環境省ノヤギ排除 調理師研修会アーカイブ配信申込み切	30	木	
			31	金	出港日  「小笠原村民みんなのクーポン(2022)」 取扱事業者 換金請求最終日